

## 高校生の探究助成制度創設の背景及び目的

(公財) スガウェザリング技術振興財団

当財団は、「ウェザリング技術」の振興を図り、我が国産業の発展と福祉の増進に寄与することを目的に、1981年に内閣総理大臣の認可を受け設立しました。以来、毎年ウェザリング技術に関する(1)功労者の表彰(2)試験研究の助成(3)講演会(4)標準化などの公益事業を行い、さらに、財団自らも試験研究を行うことで、本分野の技術振興に努めてきました。2011年には公益財団法人に移行し、2021年12月に設立40周年を迎えました。

「ウェザリング : Weathering」とは、太陽光や雨雪、海からの塩風や大気中のガスなどの自然環境に曝されて物が劣化していく現象のことです。

「ウェザリング技術」とは、まさにウェザリング現象の実態を解明し、さまざまな自然環境下での製品や材料の寿命を予測するとともに、それらの耐劣化性、耐腐食性の向上を図る技術で、製品や材料の性能改善や生産費の引下げに資するものです。ゆえに省資源的見地からも、ウェザリング技術は、我々の生活で最重要な技術分野の一つと言えます。

ウェザリング技術を駆使することで、製品、材料の寿命を延ばし、ひいてはSDGs(持続可能な開発目標 : Sustainable Development Goals)の取り組みに貢献するものです。

しかし、ウェザリング技術は広範な製品や材料に及ぶため、いずれの産業分野においても人材不足は否めず、若手研究者や技術者の育成は本分野における喫緊の課題です。

そこで、この度、当財団では設立40周年を記念し、これまでの大学や研究機関向けの研究助成に加え、ウェザリング(ウェザリング技術を含む)を探究する高校生(高専生含む)に対し、助成金を贈呈し、支援する制度を創設しました。

「ウェザリング」について萌芽的な「高校生の探究」を支援する制度を創設することは、本技術分野における次世代人材の育成の観点から極めて意義深く、次世代を担う高校生が一人でも多く、「ウェザリング」の探究がSDGs実現のための必要不可欠な技術分野であることに気付かれることを期待いたします。